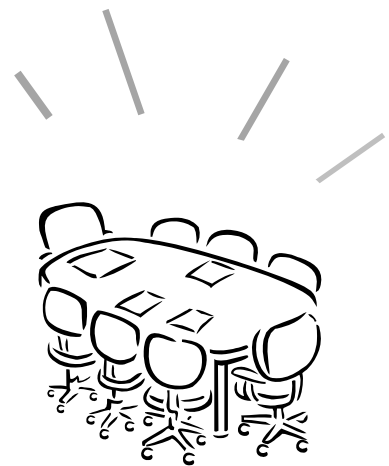


# 図書館ボランティア通信

調布市立図書館

## ●第1回ボランティアミーティングを開催しました

7月18日（木）に第1回図書館ボランティアミーティングを開催しました。継続のボランティア5人と7月からの新規ボランティア2人が出席してくださいました。今回は、図書館で制作したビデオ「あなたの求める資料はそこにある！」（10分）を上映しました。これは、初めての人向けの蔵書検索機の使い方を入門編と応用編に分けて説明したものです。その後、ボランティアのみなさんと日頃の活動をとおして意見交換を行いました。



## ボランティアミーティングで出たご意見（抜粋）

- 1 ビデオは検索の仕方について参考になるので、蔵書検索機のそばに置いて画面を流すなどの工夫も必要では？  
A 常時映像を流すことは、スペースの問題などもあり、現状では難しいです。貸出用のビデオテープがありますので、6階視聴覚資料室のカウンターまでお問い合わせください。
2. 予約資料の取置き期間は1週間だが、ベストセラーで長期間待たされた本が、たまたま旅行で不在のときに順番がきてしまい、借りられないことがあった。3日間でいいので取置き期間を延長してもらいたい。  
A 取置き期間が1週間でも長い、というご意見も寄せられています。図書館の現在のシステムでは、変更することは難しいです。
3. 貸出期間と取置き期間をセットにして考えることはできないだろうか。たとえば貸出期間と取置き期間を合わせて、3週間にするということはないか？

- A 頻繁に来館できない利用者の場合、本が届いたタイミングによっては、取置き期間が長くなり、その分貸出期間が短くなってしまいます。貸出期間内に本を読み終えるのがむずかしくなるなど、利用者の不利益につながることも考えられます。利用者みなさまへ公平に、かつできるだけ効率よく本を届けるために、1週間の取置き期間を設けるようにしてきた経緯がありますので、どうぞご理解ください。
4. 中央図書館5階の南窓側の閲覧席は、長時間占有している人が多い。参考図書室と同じような時間制限も必要ではないだろうか？
- A 参考図書室の閲覧席は2時間の申込制を設けていますが、5階アトリウム側の6人掛けの席は社会人用として、その他の席は、自由に利用していただくようになっています。図書館資料を使用しての閲覧席なので、持ち込み資料で自習している方を見かけたら8階の学習室をご案内しています。カウンターにいる職員は1時間毎に館内を巡回し、声掛けをしています。カウンター混雑時など、なかなか巡回することが難しいときがあります。そのような方を見かけたときは、カウンターにお声を掛けてください。
5. 書架がきつい場合、どのように書架整理すればよいのでしょうか？
- A 取り出しにくい状態は本来好ましいことではなく、取りやすく、かつ見やすいようにしていただくことが利用につながります。書架整理を定期的に行っていただき、職員はもちろん利用者にとってもたいへん助かっています。書架に入りきらない本は、ブックトラックや書架の隣にある小さな棚へ戻してください。
6. 新刊書はどのように買っているのでしょうか、新刊書を選ぶ基準について知りたい。
- A 日販という取次店から日々ダンボール2箱分くらいの新刊本が届き、6階にある選書作業室へ並べられます。職員はそれを“見計らい”と呼び、1週間分の新刊本とリストを見ながら選定しています。そのほか、予約の多い本をチェックしたり、見計らい以外の本や専門書などは、新聞や出版案内からも選んでいます。一般書は4つの分野に分けて、1週間に1回、選定会を行っていますが、児童書については更に時間をかけて選定をしています。リクエストや予約を受けて購入することもありますし、他の図書館からの取り寄せもしています。分館では、分館の職員が自館分の選定を行っています。
7. 貸出回数の統計のようなものをだしているのでしょうか？
- A 貸出回数状況リストを出し、定期的に除架を行っています。受入れをしてから5年から7年ほど経つと、貸出しの利用が減る傾向が見られます。

---

☆ ボランティアミーティングで出されたご意見・ご質問に対して、その場で回答したことに若干の修正・補足を加えています。

---

